

大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大 学 名	○東京大学、東京工業大学
整理番号	T-1
事 業 名	エネルギーシステムと都市のレジリエンス工学日土協働教育プログラム

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p> 本事業は、東京大学と東京工業大学が連携し、相手国であるトルコの3大学と「エネルギーシステム学教育連携」、「減災・復興実践学教育連携」及び「都市地震工学教育連携」の3つの分野横断型教育プログラムを主に英語で実施することで、両国の共通課題であるエネルギーシステムや都市の持続的な発展に貢献するリーダー人材の育成を目的としている。 </p> <p> 事業展開においては、連携する国内2大学の受入体制は既に整っており、これまでの研究協力の実績と、専門分野やニーズに対応したインターンシップ・プログラムの実施等により、学生の受入れは順調に推移していることが認められる。また、トルコとの時差はあるものの、インターネットシステムを活用した遠隔授業の実施や、双方の言語や文化を理解するための取組も有用であることから、より効果的に展開していくことが期待される。 </p> <p> トルコの政情不安から学生の派遣計画に変更が生じたが、両国学生の参加の下で、代替措置として第三国においてワークショップを開催したことは評価できる。引き続きトルコへの派遣の可能性を慎重に探るとともに、質の高い交流を維持し得る代替プログラムについて本格的に検討していくことが期待される。 </p> <p> 一方で、国内2大学の取組に比べ、トルコ側の3大学の取組は十分とは言えず、先方の大学における専門分野の受入体制等の構築や、双方向での単位認定の体制整備については、現状で検討している内容も含めて改善、実施が望まれる。また、日本人学生に対してトルコへ留学することの意義を積極的に打ち出されていくことが必要である。 </p> <p> 最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。 </p>